平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	188		
会計	一般会計				
事業区分	政策	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	林業振興事業			
担当課等名	林務課			
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
			飯田市森林整備計画	
			21'いいだ環境プラン	
	法令・例規等			
事業目的	対象	林業関係者、従事者、林業関係団体 財産区		
	意図	林業の活性化 財産区の運営が円滑に処理される		

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成24年度に策定した飯田市森林整備計画の前期計画の見直し時期を迎えており、内容の検討と合わせ、森林・林業分野の方向性等について、関係者等による意見調整の場が必要です。 林業現場の架線系技術の習得や森林管理認証の取得など、木材を搬出し、利用を拡大するための環境づくりが求められています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	林業の関係機関と連携して林業振興を推進します。 新たに産業振興審議会の専門委員会を設置し、飯田市森林整備計画の策定と森林・林業分野における方向性等について、森林関係者等による意見聴取を行い、市民参加による森林づくりを推進します。 林業事業体における架線系技術の習得を支援し、技能者の技術力の向上を図ります。 持続可能に管理された森林から、木材を調達できるようにするため、財産区等による森林管理（FM）認証の取得を支援します。	各種団体負担金	3,309
		臨時職員賃金、事務所経費、研修旅費	4,642
		産業振興審議会の専門委員会の委員報酬等	157
		架線系技術を習得するための研修費補助	200
		森林管理認証を取得するための経費の補助	700
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	負担金支出団体数	団体	9			
	産業振興審議会の専門委員	人	17			
	財産区数	財産区	34			
	林業関連生産組合等の数	組合	9			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	9,008	（そ）財産区事務繰入金 2,672千円 （そ）林務課雑入　1千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	2,673	
	一般財源	6,335	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	1	10	1	3,309 0	林業総務費
2	1	6	2	2	10	1	4,999 0	林業振興一般経費
3	1	6	2	2	10	3	700 0	森林認証システム推進事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 188　事業名 林業振興事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処置(産業廃棄物保管場所における廃棄物の適切な保管)	○	○
森林管理認証の取得	○			○	○	○○	○	○	○		廃棄物の適正処置(産業廃棄物保管場所の表示)		○	○
テレビの廃棄		○		×	×									
冷蔵庫の廃棄		○		×	×									
庁用車の廃棄		○		×	×									

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	189		
事務事業名	森林づくり推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	1	若者が帰ってこられる産業をつくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			森林法

事業目的		
	対象	民有林及び市有林 森林所有者及び市民
	意図	多面的機能を発揮できる森林の育成と健全な森林としての保全管理 森林ボランティア等の新たな担い手の確保

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	森林整備が遅れ、森林の持つ多様な多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）が効果的に発揮できない状況が生まれています。 林業労働者数の減少、財産区役員の担い手不足、森林所有者の意欲低下による山林放棄等が課題となっています。健全な森林を育成し、市民の関心を高め、多様な主体による森林づくりを推進していく必要があります。

29年度取組

取組内容

森林の持つ多面的機能（水源の涵養、土砂流出の防備、保健休養等の役割）を発揮させるため、森林整備を行った市内の民有林（国有林を除く森林）を対象に、補助金を交付します。

市有林を健全な森林として保全していくため、適切な管理を実施するとともに、豊川水源基金による整備や分収造林契約に基づく整備を行います。

森林関係者等の技術力の向上や森林ボランティアの養成など、森林づくりを進める担い手を育成するため、いいだ森林学校を開講し各種講座を実施します。

経費の内容	事業費(千円)
森林造成事業に対する補助	4,091
間伐促進対策事業に対する補助	6,465
みんなで支える里山整備事業に対する補助	2,209
森林税による里山や鳥獣被害の緩衝帯整備	1,667
間伐作業路の新設	10,001
市有林の管理業務	574
豊川水源林の整備	1,714
分収林の整備	9,595
いいだ森林学校の運営経費	1,000
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
間伐面積	ha	366			
搬出間伐面積	ha	165			
間伐を除く森林整備面積	ha	80			
間伐作業路開設延長	m	200			
豊川水源基金助成金の森林整備面積	ha	5			
分収造林契約地の森林整備面積	ha	109			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	37,316
国庫支出金	0
県支出金	7,667
地方債	0
その他	13,115
一般財源	16,534

特定財源内訳及び補足事項

(県)森林づくり推進支援金（10/10）　2,667千円
(県)間伐作業路整備事業補助金（1/2）　5,000千円
（そ）間伐作業路整備事業分担金　2,500千円
（そ）豊川水源基金助成金　1,020千円
（そ）分収造林受託事業収入　9,595千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	11	1	14,092 / 0	森林造成事業費
2	1	6	2	2	11	3	6,465 / 0	間伐促進対策事業費
3	1	6	2	2	11	5	2,209 / 0	みんなで支える里山整備事業費
4	1	6	2	2	11	6	2,667 / 0	森林づくり推進支援事業費(里山整備・緩衝帯整備・いいだ森林学校運営)
5	1	6	2	2	13	1	574 / 0	森林環境保全推進事業費 (市有林管理委託業務)
6	1	6	2	2	28	3	1,714 / 0	水源林対策事業費
7	1	6	2	2	29	3	9,595 / 0	分収造林事業費

(環境ISO管理)

事業No. 189　事業名 森林づくり推進事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
森林の再造林、下刈り、除伐	○			○	－	○	○	○	○	○				
森林の搬出間伐	○			○	－	○	○	○	○	○				
森林の保育間伐・切捨て間伐	○			○	－	○	○	○	○	○				
里山及び竹林の整備	○			○	－	○	○	○	○					
各種講座の実施	○			○	○	○	○	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価 進捗状況・成果	中間評価 達成状況	年間評価 進捗状況・成果	年間評価 達成状況
健全な森林づくりによる二酸化炭素吸収の機能の発揮につながる	間伐 年度末 366ha実施	・関係機関との調整 ・実施面積の確認（随時） ・事業実施（随時） ・実施面積の確定	・第1回補助金請求分まで37.43haの間伐が実施された。	○	・随時関係機関との情報共有を図り、本年度末間伐面積は534.11haは実施された。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	190		
会計	一般会計				
事業区分	政策	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	森林集約化事業			
担当課等名	林務課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				２１’いいだ環境プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	民有林
	意図	集約化及び団地化による森林整備の促進

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	民有林における間伐等の森林整備を計画的に促進するためには、小規模な森林所有者の集約化を図り、森林情報を的確に把握する必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	民有林における間伐等の森林整備を計画的に促進するため、小規模な森林所有者の集約化を図り、森林所有者の同意の取り付けや森林現況調査等を行う森林組合等の林業事業体へ交付金を交付します。また、新たに森林法で定められた林地台帳の整備に着手します。	森林所有者情報の整備	994
		集約化等に伴う林業事業体への交付金	3,884
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	森林経営計画策定団地数	団地	3			
	集約化された森林面積	ha	35			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	4,878	（県）市町村森林所有者情報活用推進事業補助金（1/2）　497千円
	国庫支出金	0	（県）森林整備地域活動支援交付金（7.5/10）　2,913千円
	県支出金	3,410	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,468	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	12	2	994 / 0	集約化支援対策事業費
2	1	6	2	2	12	3	3,884 / 0	森林整備地域活動支援事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 190　事業名 森林集約化事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					
適切な間伐の実施				○	―	○	○	○	―					
効率的な路網整備				×	―	―	×	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	191		
事務事業名	森林環境教育事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	学校教育との連携や、公共施設緑化を契機とした、森林環境に対する市民意識の醸成を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	公共施設の緑化には、毎年多くの要望がありますが、全ての要望に応えきれていないのが現状です。緑の少年団は、より良い体験活動ができますが、新規結成については、学校現場の受入れ態勢が課題となっており、加入校数が横ばいの状態が続いています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市内の公共施設に、緑化木を配布することで、緑豊かな環境づくりを推進するとともに、児童による緑の少年団活動等を通じ、自然環境や森林づくりの重要性を理解できる、心豊かな人間性を育みます。	公共施設への緑化木配布	1,000
		緑の少年団の活動支援	300
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	市内の公共施設に配布した苗木	本	1,300			
	緑の少年団活動団体数	団体	6			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,300	(そ) 緑の募金事務配分金　700千円
	国庫支出金	0	(そ) 下伊那山林協会緑化事業交付金　300千円
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,000	
	一般財源	300	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	13	1	1,300 / 0	森林環境保全推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 191　事業名 森林環境教育事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
緑の少年団活動	○			○	○	○	○	○	○					
小中学校の緑化促進	○			○	○	○	○	○	○					
苗木の頒布会の実施	○			○	○	○	○	○	○					
公共施設の環境緑化の推進	○			○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	192		
事務事業名	森林病害虫対策事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
		○	飯田市森林整備計画	
			21'いいだ環境プラン	
	法令・例規等		森林病害虫防除法	

事業目的		
	対象	松（松林）
	意図	松林を保全する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	松くい虫による松枯れ被害は依然として沈静化せず、むしろ今まで被害の無かった標高の高い地域へ拡大しつつあります。全量駆除による被害対策は限界にきており、守るべき松林について重点化を図り、集中的に被害拡大防止対策を図る必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	天龍峡等の重点地域・公園等を中心とした保全すべき松林を対象に、伐採駆除(破砕・燻蒸)・地上薬剤散布・薬剤樹幹注入等を行い、松くい虫被害の防止を図ります。	被害木の伐倒駆除	8,295
		地上薬剤の散布業務	4,320
		樹幹注入剤利用による松林の保全	1,840
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	伐倒駆除くん蒸・破砕	m3	238			
	地上薬剤散布	ha	20			
	樹幹注入	本	130			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	14,455	（県）松林健全化推進事業補助金（伐倒 県1/2、衛生伐　国1/2、県1/5、地上散布 国1/2、県1/4、樹幹注入　国1/2、県1/4）　4,421千円 （そ）松くい虫防除対策事業分担金　60千円 （そ）下伊那山林協会工事助成金　150千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	4,421	
	地方債	0	
	その他	210	
	一般財源	9,824	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	14	1	14,455 / 0	森林病害虫対策事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 192　事業名 森林病害虫対策事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
地上薬剤散布	○			×	×	－	○	－	－					
伐倒駆除	○			－	－	－	○	－	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	193		
会計	一般会計				
事務事業名	森林鳥獣被害対策事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			鳥獣保護法
				鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律

事業目的		
	対象	有害鳥獣
	意図	農林産物被害を防止し、良好な森林形成を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	有害鳥獣による農林業被害が年々拡大しており、鳥獣被害対策実施隊による効果的、効率的な捕獲や、荒廃した集落周辺の森林（里山）の保全管理を図る必要があります。 南アルプスの高山帯において、ニホンジカにより貴重な高山植物等に食害が発生しています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	鳥獣被害対策実施隊員の活動を支援し、有害鳥獣捕獲活動を効率的・効果的に行うことで、農林業者の生産意欲等の低下に歯止めをかけ、農林業の振興を図ります。 人工林におけるカモシカの食害被害の拡大を防止するため、県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行います。 南アルプスにおける貴重な高山植物等を保護するため、広域連携による食害状況及び植生調査を実施するとともに、破損した防鹿柵の撤去作業等を行います。	鳥獣被害対策実施隊員への報酬	1,126
		カモシカの捕獲	342
		錯誤捕獲した野生鳥獣の放獣	1,685
		南アルプスにおける高山植物の食害対策	225
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	飯田市鳥獣被害対策実施隊員数	人	223			
	カモシカ個体調整頭数	頭	5			
	ユネスコエコパークエリア内のシカ駆除数	頭	850			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,378	（県）野生鳥獣総合管理対策事業補助金(1/2)　702千円 （そ）鳥獣飼養登録手数料　108千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	702	
	地方債	0	
	その他	108	
	一般財源	2,568	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	15	1	3,378 / 0	鳥獣被害対策事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 193　事業名 森林鳥獣被害対策事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		労働安全衛生法	カモシカ捕獲個体調査に係るリスクアセスメント	○	○
鳥獣被害対策による林業被害の防止	○			×	－	－	○	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	194		
会計	一般会計				
事業区分	経常	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	林道管理事業			
担当課等名	林務課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
		○	飯田市森林整備計画	
	法令・例規等		森林・林業基本法	

事業目的		
	対象	飯田市が管理する林道
	意図	林道機能の維持や通行の安全確保を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	林道（延長161.7km）の維持補修工事、除草、除雪業務、保守点検など、林道機能の維持や通行の安全管理を行うことで、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図ります。	林道の路面整備	11,729
		林道沿線の環境整備業務	1,998
		林道補修用原材料費	1,188
		林道除雪作業業務	2,609
		その他の経費	1,871

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	林道管理業務	路線	48			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	19,395	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	19,395	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	18	1	19,395 / 0	林道管理事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 194　事業名 林道管理事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
公共工事の計画・設計・施工	○			×	×	×	×	－	×					
公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	－	○	○				
現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○					
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
資源の有効活用と公害抑制につながる	林道環境配慮率 工事終了時 ８０％以上	・計画策定段階での配慮基本方針確認 ・設計、工事段階での評価項目確認、配慮 ・竣工時評価	・計画段階での環境への配慮基本方針を確認した。	○	・すべての維持工事において、常に環境への配慮について検討し実施された。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	195		
会計	一般会計				
事務事業名	林道整備事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
		○	飯田市森林整備計画	
			地域再生計画	
	法令・例規等		森林・林業基本法	

事業目的		
	対象	未舗装、未改良部分の林道
	意図	林道の開設、改良、舗装工事を実施し、森林整備の作業効率や輸送力及び生産性を向上させる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	未改良区間が多数あるため、崩落の危険性の高い箇所を中心に効率的に事業を進める必要があります。降雨による崩落や落石倒木等が多く、林道通行者の安全確保が課題であるため、森林整備や木材搬出が多い路線を対象に重点化を図り経費を縮減します。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
森林整備や保全管理上、必要不可欠な林道の開設、改良、舗装工事を行い、木材運搬の効率化や通行の安全確保を図ります。また、老朽化した橋梁の補修工事を実施し、長寿命化と将来の架替えコストの縮減を図ります。	林道の開設(南信濃高平線)	21,190
	林道の舗装(千遠線)	32,008
	林道の改良（国庫補助事業）	181,678
	林道の改良（市単独事業）	5,442
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
林道開設延長	m	200			
林道舗装延長	m	1,000			
林道改良延長	m	700			
林道橋梁改良・保全整備箇所	橋	9			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	240,318	(県)林道開設事業補助金(国1/2、県5/100)　10,189千円
国庫支出金	0	(県)林道舗装事業補助金(国1/2、県1/100)　15,560千円
県支出金	114,838	(県)林道改良事業補助金(国1/2、県1/100)　89,089千円
地方債	111,200	(地)過疎対策(充当率100%)　34,500千円
その他	0	(地)公共事業等(充当率90%)　76,700千円
一般財源	14,280	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	19	1	21,190 / 0	林道開設事業費
2	1	6	2	2	20	1	32,008 / 0	林道舗装事業費
3	1	6	2	2	21	1	181,678 / 0	林道改良事業費（補助）
4	1	6	2	2	22	1	5,442 / 0	林道改良事業費（単独）
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 195　事業名 林道整備事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
公共工事の計画・設計・施工	○			×	×	×	×	－	×					
公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	－	○	○				
現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○					
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
資源の有効利用と公害抑制につながる	林道環境配慮率 工事終了時 ８０％以上	・計画策定段階での配慮基本方針確認 ・設計、工事段階での評価項目確認、配慮 ・竣工時評価	・発注工事7件において、環境配慮シートにより各項目を確認した。	○	・発注工事7件竣工。環境配慮シートによりチェックを行い設計時の計画を達成した。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	196		
会計	一般会計				
事務事業名	治山関連事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
		○	飯田市森林整備計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	保安林・治山事業区域内の民有林
	意図	森林荒廃地の早期回復により保全と再生を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	近年、豪雨や台風が多く、土砂災害発生の危険性が年々高まっており、一層の事業推進を図る必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	森林、道路、人家等を守るため、県単の公共治山事業で採択されなかった小規模な箇所を市単独事業で実施します。 飯田市の重要な水源地である松川入地区において、国が進めている民有林直轄治山事業を円滑に行うため、関連改良工事を実施します。	県治山事業の関連工事	988
		国直轄治山事業関連の林道松川入線整備	1,361
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	治山関連工事	箇所	2			
	松川入線改良施工延長	m	50			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	2,349	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,349	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	22	2	988 / 0	治山関連事業費
2	1	6	2	2	25	1	1,361 / 0	直轄治山環境整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 196　事業名 治山関連事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
公共工事の計画・設計・施工	○			×	×	×	×	－	×					
公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	－	○	○				
現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○					
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
資源の有効活用と公害抑制につながる	林道環境配慮率 工事終了時 ８０％以上	・計画策定段階での配慮基本方針確認 ・設計、工事段階での評価項目確認、配慮 ・竣工時評価	・事業実施なし	○	・工事実施時に環境への配慮方針確認し、工事が実施された。	○

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	197		
会計	一般会計				
事業区分	政策	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	森林資源活用推進事業			
担当課等名	林務課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	林業生産額（億円）
	意図	間伐材を含めた飯田市産材の利用により、森林整備や林業振興を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	木材利用や森林に対する理解を深めるため、地域ぐるみによる木づかい運動を展開するとともに、川下における新たな需要を喚起し、飯田市産材利用の拡大を図る必要があります。また地元産材の需要拡大に向けて、木の良さを体感してもらう機会が求められています。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
飯田市産材を一定の割合以上使用して、住宅を新築及びリフォームした場合に、建築主、施工した市内の工務店・設計事務所に対して補助金を交付することで、木材自給率を高め、まちの木質化につなげます。また、飯田市産材の利用拡大を図るため、分離発注方式を含めた仕組みを検討します。 木育活動を通じて、木の良さを体感してもらうための機会を創設することで、木材利用の拡大を図ります。	住宅の新築・リフォームに対する補助	3,546
	木育活動を推進するための経費	2,333
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
飯田市産材を使って建てた住宅戸数	戸	12			
新生児用の木製スプーンの製作数	個	900			
貸出用木製遊具の製作数	セット	10			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	5,879	（県）森林づくり推進支援金（10/10）
国庫支出金	0	
県支出金	2,333	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	3,546	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	6	3,546 / 0	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業費
2	1	6	2	2	11	6	2,333 / 0	森林づくり推進支援事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 197　事業名 森林資源活用推進事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
地域産材利用による住宅づくり補助	○			○	○	○	○	－	○					
木育活動の推進による木づかい運動	○			○	○	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
木材の活用により森林整備についての理解が深まる						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	198		
事務事業名	森づくり市民活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
			飯田市森林整備計画	
			21'いいだ環境プラン	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民・企業
	意図	森林体験や普及活動を通じた森林づくりへの市民参加を増やす

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	木材等の利用や森林に対する理解が進んでいない状況があります。森林づくりを支えるため、森林体験や環境活動等に取り組んでいる企業・団体・NPO・市民等、多様な主体と協働し、普及啓発活動や森林整備を進めていく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	森林（もり）の里親促進事業を通じ、企業と森林所有者等との交流を深め、森林整備を進めます。 市民が自然と触れ合いながら、様々な体験を通して自然の大切さや木材利用、森林保全等の重要性を学ぶことができる環境づくりを進めます。	森林の里親制度締結団体との交流活動	118
		育樹祭の負担金	247
		野底山森林公園さくら祭りの負担金	529
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	企業・団体等と地域との交流	回	3			
	イベントへの市民の参加者数	人	5,200			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	894	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	894	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	26	9	118 / 0	森林の里親制度推進事業費
2	1	6	2	2	27	5	776 / 0	森林ふれあい事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 198　事業名 森づくり市民活動支援事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
企業等と地域との交流	○			－	－	○	○○	○	○					
企業等と地域との森林整備	○			○	－	○	○	○	○					
普及啓発イベントへの市民参加	○			－	－	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
各種団体や市民が森林や木材に関するイベント等に参加することで森林整備についての意識啓発に繋がる						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	199		
会計	一般会計				
事務事業名	林業施設管理運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	木工センターとちの木と林産物加工施設
	意図	施設の利活用を図り、木材利用を促進する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	直営により休館扱いとなっているとちの木の取扱いについて、上村まちづくり委員会の特別委員会で、今後の施設の在り方が検討されています。公共施設マネジメントを進める観点から、施設の活用方策を明らかにする必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	木工センターとちの木については、上村まちづくり委員会の意見等を踏まえ、施設の在り方を明らかにしていきます。また、林産物加工施設は、関係者等との協議を進め、本格稼働に向けた支援を行います。	木工センターとちの木の維持管理費	561
		林産物加工施設の維持管理費	727
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	施設管理に関する協議	回	5			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	1,288	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,288	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	2	30	1	561 / 0	上村木材工芸品加工販売施設費
2	1	6	2	2	31	1	727 / 0	林産物加工施設費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 199　事業名 林業施設管理運営事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所における廃棄物の適切な保管	○	○
廃棄物の発生	○			×										
電気の消費	○			×							産業廃棄物保管場所の表示		○	○
水の消費	○			×										
地元産材利用による製品化	○			○		○								
冷蔵庫の廃棄		○		×										
建物火災			○	×	×	×	×	－	×	○				
地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	200		
会計	一般会計				
事務事業名	森林公園維持管理事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	林務課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
				飯田市森林整備計画
				21'いいだ環境プラン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	野底山森林公園の各施設
	意図	適切に維持管理を行い、利用の拡大を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	高速交通網や交流人口の拡大など、時代の変化に対応した公園の在り方が求められおり、ワークショップによるマネジメントプランづくりを行っています。今後は、同プランに基づき、観光と連携したグリーンツーリズムや森林空間を活かした地域振興につなげていく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	公園の整備・管理運営・活用方策を規定したマネジメントプランを策定するとともに、観光分野と連携した体験プログラムを体系化することで、利用拡大を図ります。	施設管理業務の委託料	9,903
		施設改修に係る工事費	918
		施設に関する修繕料等	654
		建物の火災保険料	102
		利用促進のためのワークショップに係る経費	197
		ＡＥＤ借り上げ料	58
		自動車重量税	9
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	年間延べ利用者数	人	41,000			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	11,841	（そ）太陽光発電収入　192千円
	国庫支出金	0	（そ）下伊那山林協会緑化事業交付金　250千円
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	442	
	一般財源	11,399	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	2	3	10	1	11,841 / 0	森林公園一般経費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 200　事業名 森林公園維持管理事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物保管場所における廃棄物の適切な保管	○	○
廃棄物の発生	○			×	×	－	×	－	－					
電気の消費	○			×		×					産業廃棄物の保管場所の表示		○	○
水の消費	○			×										
公園内の森林緑地帯の維持管理	○			×	○	○	○	－	○					
建物火災			○	－	×	×	×	－	×	○				
森林・緑地帯の火災			○	××	×	×	×	－	××	○				
地震による建物倒壊			○	－	×	－	－	－	××	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
林野火災による大気汚染と財産喪失のリスクがある						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	30	事業No.	349		
会計	一般会計				
事業区分	政策	実施区分	継続		
開始		終了			

事務事業名	林道災害復旧事業			
担当課等名	林務課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		地域経済活性化プログラム2017	
		○	飯田市森林整備計画	
	法令・例規等		農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律	

事業目的		
	対象	林道施設の災害箇所
	意図	原状回復を図る

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	近年、豪雨や台風が多く、災害発生の危険性が年々高まっています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	台風や豪雨災害で被災した林道復旧工事を実施します。	林道災害復旧工事(単独)	1,300
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	復旧した箇所	個所	-			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	1,300	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,300	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	11	1	10	11	1	1,300 / 0	林道単独災害復旧事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 349　事業名 林道災害復旧事業　　林務課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
公共工事の計画・設計・施工	○			×	×	×	×	－	×					
公共工事の環境配慮設計・施工	○			○	○	○	○	－	○	○				
現場での事故防止	○			○	○	○	○	○	○					
現場での事故発生			○	×	×	×	×	×	×	○				

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
資源の有効活用と公害抑制につながる						